

熊本県立荒尾支援学校進路便り

# わーく&らいふ

令和5年度第12号(通巻86号) 令和6年3月1日発行

## 進路情報提供を推進する取組の紹介 ARA・SHI福祉サービスセミナー&職員進路研修報告

### 進卒業



保護者の皆様の学校評価アンケート結果によりますと、「進路に関する情報の提供」に関する評価は全20項目中2番目に高く、昨年度比で大きく向上しました。年度初めにお配りした「進路の手引き」、9月から毎月実施してきた「ARA・SHI福祉サービスセミナー(福祉サービス事業所説明会)」、「進路だより(シリーズキャリア教育で各学習グループ毎のキャリア教育を紹介)」等、本校独自の取組を、保護者の皆様に十分評価頂いたものと感じ、深く感謝申し上げます。

今回の「わーく&らいふ」では、上記取組のうち「ARA・SHI福祉サービスセミナー」の概要に加えて、本校職員の進路に関する専門性向上の取組「一人一テーマ研修」についてご紹介します。

### ■「ARA・SHI福祉サービスセミナー」(9月～3月毎月実施)



障がいのある生徒の適切な進路選択に向けては、生徒からの意思表示や判断・選択に困難さがある場合が多いことから、生徒と関わる様々な関係者間での意見交換と合意形成が不可欠です。特に、生徒の発達と生活を支える保護者が進路選択にかかわることは、非常に重要なポイントとなるため、本校では平成29年度より保護者向けの情報提供の場として説明会に取り

組んできました。今年度の実績(予定も含む)は、表1のとおりです。荒尾市文化センター会議室を会場にして実施するセミナーは、写真のとおり、事業所の皆様と間近に情報交換できるよう運営しています。

生活介護の説明会への参加者は比較的多い傾向にあり、支援度の高い児童生徒

のご家庭はとくに熱心に情報収集されている様子がうかがえます。

毎回お聞きする参加者へのアンケートには、「たくさんの方に聞いて頂かないともったいない。」との意見が書いてあり、更に多くの保護者のご参加があればと願っております。

表1「今年度の実績(予定も含む)」

	月日	内容	参加数	参加者の内訳
1	9月28日	生活介護	14	小3, 中3, 高8
2	10月20日	生活介護	14	小1, 中2, 高11
3	11月27日	就労B	10	小1, 中3, 高6
4	12月18日	就労B	8	小1, 中2, 高5
5	1月18日	就労移行	7	小3, 中1, 高3
6	2月22日	就労A	3	高3
7	3月18日	就労A		



### ■職員進路研修「一人一テーマ研修」

高等部以外の職員にとって、進路に関する情報に接する機会が少なく、また様々な制度や事業所があり理解が難しく、進路に関する苦手意識をもちやすい傾向にあります。そこで本校では毎年、職員向けに進路情報に関するアンケートを実施し、職員が必要としている情報を、進路指導部員(各学習グループに1名以上います)一人一人が下記のようなテーマを設定して研修し、他の職員へ説明することにより、専門性の向上に努めています。

以下にその一例をご紹介します。「詳しく見たい」等興味がおありの方は「しんろ目安箱」でお知らせください。

#### テーマ一覧

- ①福祉サービス事業所における作業活動等の実際について～事業所へのアンケートより～
- ②高等部や卒業後を見据えた中学部から必要な力～働く準備評価シートを用いて～
- ③卒業生にみる教育効果と課題～卒業生へのアンケートを通して～
- ④福祉サービス理解を促す実習先ガイドの作成
- ⑤高等部一般学級職業コース「地域で学ぶ」学習の展開～デュアルシステム型実習の実際～
- ⑥医療的ケアについて



### 【テーマ①】福祉サービス事業所における作業活動等の実際について

#### 【研修のねらい】

「卒業生が働く(活動する)事業所での活動の様子をアンケートで調査し、作業活動の取り扱いや工賃(賃金)の実際、余暇活動等の実際について把握し福祉サービスに関する理解を深める。

(裏面へ)

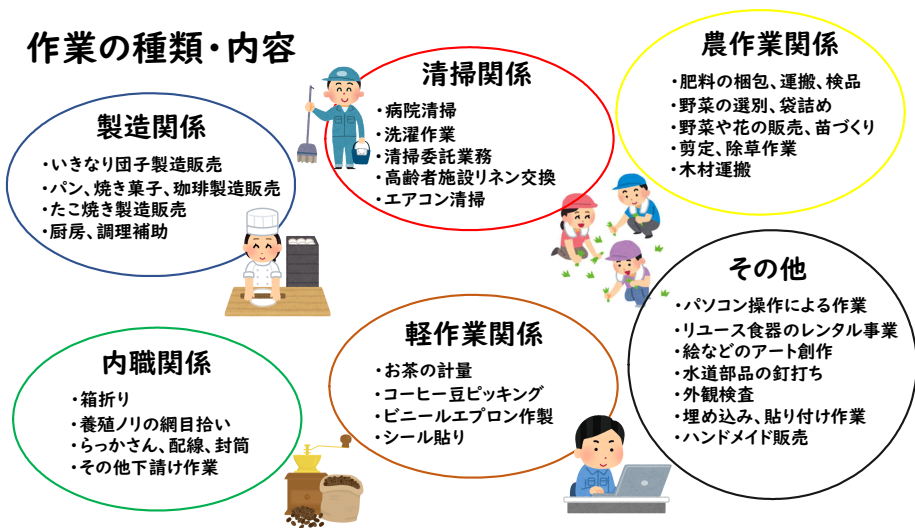


【アンケートのまとめ】

卒業生がお世話になっている事業所に、下表の項目でアンケートを実施し、25件の回答がありました。質問項目ごとに概要と傾向をまとめました。

サービス提供時間	◆ 5～6時間が最も多く(53.6%)、次が6～7時間(32.1%)。 ◆ 事業所で過ごす時間は、学校で過ごす時間帯とほぼ変わらない。
一日当たりの作業時間	◆ 4～5時間が半数を占めている。 ◆ これらの時間作業を行うために必要な体力・作業に取り組む力の育成が必要。
一日の活動時間に作業が占める割合	◆ サービスによっても異なるが、半数の事業所で80%以上、約3割の事業所で50%～80%の割合であり、作業時間の割合は高い。
作業の種類内容	◆ 作業内容は多岐にわたっている。(下図) ◆ 清掃は学校でも取り組んでおり、学校や家庭でも丁寧な指導が必要。
作業中の休憩時間	◆ 約1時間に10分程度休憩をとる事業所が多い。 ⇒ 一定の時間活動を継続する力が求められる。
工賃の決め方	◆ 就労継続支援A型 賃金の幅(30,018円～85,000円程度) ※働く時間は、4～4,5時間程度
	◆ 就労継続支援B型または生活介護 賃金の幅が広い。(数百円から40000円程度まで)
余暇活動	◆ カラオケや野外活動などを行っているところが多い。 ◆ 旅行や季節に応じたイベントを行っている。

作業の種類・内容



以上、福祉サービス事業所の活動の概要でした。実際には事業所ごとに様々な特色があり、お子様との相性も重要となります。今回号でご紹介した本校の「ARA・SHI福祉サービスセミナー」は、実際の事業所の皆様と対面で直接情報収集できる機会ですので、ご活用をお勧めします。3月18日が本年度最終回となりますので、ご参加をご検討ください。

文責 谷口

【参考資料】

私たちの「キャリアアップチャレンジ5」

前回紹介しました、高等部一般学級の行動規範「キャリアアップチャレンジ5」ですが、生徒の実態を踏まえて、さらに具体的な行動レベルの目標まで落とし込み、一人一人が「自分ごと」として捉えられるようにする必要があります。以下に紹介するのは、生徒たちが考えた個人毎の目標です。お子様に合った目標を考える上での参考にご覧ください。

私たちの「キャリアアップチャレンジ5」  
1 気持ちいいあいさつ返事



- 「誰にでも あいさつする。」
- 「元気よくあいさつする。」
- 「教室に入るとき立ち止まってあいさつする。」
- 「笑顔で相手を見る。」
- 「頭を下げて あいさつ。」
- 「相手に聞こえるようにあいさつする。」
- 「ゆうつなどときでも あいさつする。」
- 「先生や親から呼ばれたらすぐへんじをする。」
- 「人に会ったら すぐに言う。」
- 「適切な声で あいさつ。」
- 「名前を呼びかけてみんなにあいさつする。」
- 「知らない人にもきちんと目を見てあいさつする。」
- 「はっきり返事する。」

私たちの「キャリアアップチャレンジ5」  
2 きちんとした 身なり



- 「ボタンをとめる。」
- 「毎日鏡を見る。」
- 「自分で寝ぐせを直せるようにする。」
- 「制服についた毛やほりをとる。」
- 「すそを入れる。」
- 「くしで髪をほどく。」
- 「髪の毛を整える。」
- 「髪の毛を結ぶ。」
- 「髪の毛の長さを整える。」
- 「週に1回ひげをそる。」
- 「爪を切ってきれいに削る。」
- 「手を洗う。」
- 「制服を毎日あらう。」

私たちの「キャリアアップチャレンジ5」  
3 ていねいな ことばづかい



- 「優しい言葉遣いをする。」
- 「相手の気持ちを考える。」
- 「相手がわかりやすいように話す。」
- 「正式な場所では先輩に『です』『ます』を使う。」
- 「ありがとう。ごめんなさい。を言う。」
- 「敬語で話す。」
- 「慣れてる先生にも敬語を使う。」
- 「らんぼうな発言をしない。」
- 「返し方を覚える。学ぶ。」
- 「やさしく呼ぶ。」

私たちの「キャリアアップチャレンジ5」  
4 時間・約束をまもろう



- 「時計を見て行動する。」
- 「急な約束も守る。」
- 「学校ではスマホの電源を切って先生にあずける。」
- 「遅刻しないように早寝早起きする。」
- 「先生に言われてからではなく自分で時計を見て気づく。」
- 「決まった時間の5分前には着席しておく。」
- 「自分が約束していることをきちんと守る。」
- 「2分～3分前に次の準備をすませる。」
- 「授業に遅れない。」

私たちの「キャリアアップチャレンジ5」  
5 そうじかたづけ



- 「くつを そろえる。」
- 「すみずみまで ほうきでゴミをとる。」
- 「決まりを守って掃除する。」
- 「身の回りを見てゴミが落ちてないか確認する。」
- 「よごれがあったらきちんと掃除をする。」
- 「ゴミのまとめ方をおぼえる。」
- 「使ったものはすぐかたづける。」
- 「人が見て『きれい』だと思われるようにする。」
- 「黒板を毎日ぞうきんで拭く。」
- 「時間いっぱい最後まで掃除に取り組む。」
- 「出したものをそのままにしない。」
- 「お母さんに言われる前に自分が動く。」
- 「使ったらきれいに戻す。」
- 「自分の部屋をかたづける。」

進路に関する疑問・質問は  
下のQRコードから  
どしどしお寄せください！

